

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート名護やぶ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	配置などを変えている	利用定員、活動内容によりスペースが不十分な時もある為間隔等に配慮し指導する
	2	職員の配置数は適切である	4	0	人員確保に向け動向	職員不足により、一人一人に寄り添った適切な支援が難しい
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	職員が見える場所に配置	子どもたちの生活空間が見えやすいように環境を整えている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	心地良く過ごしやすい環境作りにつとめている	使った後の道具等の片付け・消毒等を徹底しおこない、清潔に心地良い環境としている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	職員同志で意見交換しながらおこなっている	職員が意見を出し合う事がひつようである
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者の意見を取りいれながら業務改善している	保護者の意向を業務改善につなげていけるよう、職員間で連携している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	事業所の会報を公開している	毎年、自己評価を行い、ホームページ等で公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	外部からの評価結果をふまえて意見交換している	今後、第三者の意見を聞きながら業務改善につなげていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	研修を受けて実践できるように心がける	管理者研修、職員研修等、同事業所での研修などあり、充実している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	スタッフで話あいをもち計画している	アセスメントを職員同志意見交換する必要がある
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	定期的におこなっている	適応行動は常に職員同志意見交換し話し合う必要がある
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	その児童にあった支援計画を職員同士が話し合いおこなっている	その子どもによって、特性が違う為、職員同士がその特性などを知る必要がある
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援計画にもとずき支援が出来るようにふりかえなどをおこなっている	定期的な話し合い、みなおしが必須
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員同志共有している	その子どもにあったできる事をのばす支援を考え支援している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	職員同士が意見交換をおこなっている	その子どもにあった出来る事をのばしていけるようなプログラムを職員で話し合い考え工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	子どもにあったプログラムをつくる	個別活動と集団活動をわけておこなっている

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	4	0	役割を与える事で責任感がでる	本日の活動、送迎時、事前に打ち合わせし担当を決め、職員間で情報共有している
	18	4	0	振り返りを適切に行い共有する	緊急内容等は、その日で共有したり、朝のミーティングで共有している
	19	4	0	支援記録を検証し改善につなげる	日々の支援記録をもとに様子を観察している
	20	4	0	定期的にモニタリングを行い見直しをおこなう	新しい事にも挑戦している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	4	0	児童発達支援管理責任者が参加している	子どもにあった適切なものが参加している
	22	4	0	今後も関係機関と連携し支援を行う	学校、地域連携とりながら行っている
	23	0	4	受け入れの際は、連絡体制を整え支援していきたい	現在、医療的ケアが必要な利用者はいない
	24	0	4	受け入れの際には連絡体制を整え支援していきたい	現在、医療的ケアが必要な利用者はいない
	25	4	0	移行支援する際は情報提供をは十分におこなっている	学校以外にも情報交換をおこなっている
	26	4	0	移行する際は支援内容、情報提供をおこなう	自立出来るように指導している
	27	4	0	専門家の意見を参考にしながら実践する	研修して、すぐに実施していけるようにする
	28	0	4	公園など他の保育園児との交流をしている	同事業所内での交流は定期的にあるが、今後、色々な交流など検討したい
	29	4	0	協議会などからの会議の呼びかけなどあれば積極的に参加し	最近では、自立支援などの会議への参加が少ない
	30	4	0	送迎時などに今日の状況をこまめに伝える	気になる事等あれば、その都度、保護者へ連絡したり、連絡帳などへ記入したり伝えている
	31	4	0	ペアレント・トレーニング等の支援、相談があった際には対応したい	職員も積極的に研修して参加することが大事である
32	4	0	支援内容等、子どもにあった支援をしている	契約時等、説明をおこなっている。その都度気になる事があれば対応し説明している	
33	4	0	支援計画書を作成し保護者からの同意を得ている	定期的なモニタリングの見直しなどをおこなう、その都度保護者に説明し同意を得る	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	定期的にモニタリングなど、送迎時にコミュニケーションをはかる	悩み等あれば、いつでも相談に応じられるように対応している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	保護者会は、職員も参加する必要がある	保護者会等、現時点では開催されておらず、今後、保護者同志の連携を支援する取り組みも考え保護者会を開催したい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	職員間での共通理解し迅速に適切に対応するように心がけている	相談があった際には迅速に対応できるように、報連相を職員間連携している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	予定表や、だより等で発信している	予定表や、だより等を発行して情報を発信、その都度対応事項などあれば、お知らせにて発行する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	秘守義務を守っている。	個人情報には、十分配慮している
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	日頃から送迎時等に日々の様子を共有している	常に今日の出来事を発言している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	地域のイベントがあった際には積極的に参加している	地域のイベント等に参加しながら連携をはかっている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	研修などで、周知したり、マニュアル等を作成し、見えやすい場所等においている	緊急マニュアル対策を研修しながら行っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	日頃から対応出来るように基礎知識を身につける	防災訓練は、半年、年2回おこなっている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	その状況にあった対応ができるように、研修や職員間で共有し	アセスメントシートなど利用し、その子の状況を把握している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	研修資料をよんでいる	事業所内での研修や、マニュアルで対応できるよう、日頃から基礎知識を身につけるよう努めている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハット記入し情報共有し改善につなげている	何がおこるかわからないので、その場で対応している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	月に一度研修会を確保し対応している	虐待防止対策は職員も資料研修をおこなっている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	身体拘束を行う際は十分に説明し了解を得る	十分理解したうえで日頃から、研修マニュアルをよんでいる

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。